



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

平成28年度住宅市場動向調査

＝ リフォーム住宅アンケート調査票 ＝

- この調査は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間に、ご自身がお住まいの住宅のリフォーム（Iの問4、問5のような工事）を実施された方にお願ひするものです。
- この調査票は、回収用封筒に密封のうえ、調査員が後日お伺ひした時にお渡しください。
- この調査は、無記名式で行っております。調査票にご回答いただいた内容は、統計上の目的以外に使用することはありません。

☆ご回答にあたってのお願い

- ① 原則、世帯主の方にご記入をお願いします。もし、世帯主以外の方がご記入される場合は、世帯主の方の立場でご記入ください。
- ② 濃い目の鉛筆又はボールペンではっきりとご記入ください。
- ③ ご回答は指定された 内に該当する**数値**を記入するか、該当する選択肢番号に**丸印**をつけることによりお願いします。

住宅の所在地（調査員記入欄）	
都道	区市
府県	町村

住宅の建て方（調査員記入欄）
1. 一戸建て（一つの建物が一つの住宅であるもの）
2. 集合住宅（一つの建物に複数の住宅があるもの）

（調査員記入欄）

調査員名： _____

回収予定日： _____ 月 _____ 日

平成28年10月
国土交通省住宅局

1. 平成27年4月1日から平成28年3月31日にリフォームされた住宅に関連しておたずねします。

問1. 現在の住宅はいつ頃どのように取得しましたか。

(〔取得時期〕 内に数字を記入、〔取得時期〕・〔取得方法〕ともに○はひとつ)

〔取得時期〕	1. 平成 <input type="text"/> 年頃	2. 昭和 <input type="text"/> 年頃	3. 大正以前
〔取得方法〕	1. 注文住宅建築 2. 分譲住宅購入 3. 中古住宅購入 4. 住宅相続・贈与 5. その他 (<input type="text"/>)		

問2. 現在の住宅の建築時期

現在の住宅はいつ頃建築されましたか。(○はひとつ)

1. 平成 <input type="text"/> 年頃	2. 昭和 <input type="text"/> 年頃	3. 大正以前
-------------------------------	-------------------------------	---------

問3. 前回のリフォームの時期はいつ頃でしたか。(○はひとつ)

1. 今回が初めて	2. 5年以内	3. 5年超10年以内	4. 10年超15年以内
5. 15年超20年以内	6. 20年超	7. 不明	

問4. リフォームの種類

リフォーム工事の種類はどのようなものでしたか。(○はひとつ)

1. 〔増築〕住宅の床面積を増加させる工事をした 2. 〔改築〕住宅の一部を取り壊して改めて住宅部分を建築する工事をした (ただし、新たに建築した部分の面積が、取り壊した部分の面積を超えない工事) 3. 〔模様替えなど〕内装の模様替え、屋根のふき替え、間取りの変更、設備の改善など 床面積を増加させたり住宅の一部を取り壊したりせずに行う工事をした

問5. リフォームの内容

リフォーム工事の内容はどのようなものでしたか。

(○はいくつでも。「4」～「6」にお答えの場合は問5-1から5-3にもそれぞれお答えください。)

1. 内装の模様替えなど(壁紙、天井、床の張り替えなど) 2. 壁の位置を変更するなど、間取りの変更 3. 住宅外(屋根のふき替え、屋根・外壁の塗り替え等)の改善・変更 4. 住宅内の設備の改善・変更(問5-1へ) 5. 住宅の構造に関する改善・変更(問5-2へ) 6. 冷暖房設備等の変更(問5-3へ) 7. 高齢者等に配慮し、段差をとる、手すりをつけるなど 8. その他(ex.シックハウス対策等) (<input type="text"/>)	問5-1. どの部分の設備の改善・変更を行いましたか。(○はいくつでも) 1. 収納スペースの改善・増加を行った 2. 窓・扉などの建具を取り替えた 3. 台所・便所・浴室等の設備を改善した 4. 防犯・安全設備を設置した
	問5-2. どの部分の構造に関する改善・変更を行いましたか。(○はいくつでも) 1. 断熱工事、結露防止工事等を行った 2. 基礎・構造の補強を行った 3. 防音・遮音工事を行った 4. 耐震改修工事を行った
	問5-3. どのような冷暖房設備等の変更を行いましたか。(○はいくつでも) 1. 冷暖房設備を改善・設置した 2. 太陽光発電や太陽熱温水器の設置 3. 電気温水器の設置 4. 給排水管の修理や交換を行った

問6. リフォームの部位 (〇はいくつでも)

1. すべての部屋	7. 主寝室	13. 外壁
2. 居間	8. 子供部屋	14. 給湯器
3. キッチン	9. 和室	15. 門・へい
4. ダイニング	10. 玄関	16. 車庫・物置
5. 浴室	11. 収納	17. 高齢者居室
6. トイレ	12. 屋根	18. その他 ()

問7. リフォームの動機 (〇はいくつでも)

1. 住宅が狭かった	7. 子供の成長に備えるため
2. 台所、浴室、給湯器などの設備が不十分だった	8. 家族や自分の老後に備えるため
3. 住宅がいたんだり汚れたりしていた	9. 介護のため
4. 家を長持ちさせるため	10. 家族人数(同居人数)が変わったため
5. 耐震性がなかったから	11. 売却するため
6. さしあたり不満がなかったがよい住宅にしたかった	12. その他 ()

問8. リフォームの工事期間はどのくらいでしたか (〇はひとつ)

1. 1週間以内	3. 2週間超1か月以内	5. 2か月超3か月以内
2. 1週間超2週間以内	4. 1か月超2か月以内	6. 3か月超

問9. リフォームの施工者

リフォームを施工したのは誰ですか。(〇はひとつ)

1. 現在の住宅を施工した工務店や住宅メーカー
2. 現在の住宅を施工した工務店や住宅メーカーとは別の工務店や住宅メーカー
3. 水道や電気などの専門工事業者
4. 浴槽やシステムキッチン等の販売店やメーカー
5. 自分でやった
6. その他 ()

問10. リフォーム施工業者を探した方法 (問9で1、5以外と答えた方のみ) (〇はいくつでも)

1. 以前からつきあいのあった業者	4. 電話帳(ハローページ)	7. ダイレクトメール
2. 業者の直接セールス	5. リフォーム雑誌	8. インターネット
3. 知人からの紹介	6. 折り込み広告	9. その他 ()

問11. リフォームをした時に困ったこと (〇はいくつでも)

1. 信頼できるリフォーム業者がなかなか見つからなかった	9. アフターケアが悪かった
2. 業者の見積もりが適切なものかどうかわからなかった	10. リフォーム時の仮住まい
3. リフォームのプランが適切なものかどうかわからなかった	11. その他
4. リフォーム資金の借入先や借入方法がわからなかった)
5. 費用が当初見積もりよりもオーバーした	
6. 工期が当初予定よりもオーバーした	
7. 近所や管理組合との調整が大変だった	
8. 仕上がりが予想していたものと違った	12. 特にない

問12. リフォーム時に新築時の設計図書(配置図・平面図・立面図等)はありましたか。(〇はひとつ)
(一戸建て住宅をリフォームされた方のみにお伺いします。)

1. あった	2. なかった	3. 分からない
--------	---------	----------

II. リフォーム前後での住宅の変化についておたずねします。

問13. リフォーム前とリフォーム後の住宅の比較

	項目	リフォーム前	リフォーム後
問13-1	延べ床面積 ^{注1} ※坪数は3.3倍して㎡に換算してご記入ください。	㎡	㎡
問13-2	高齢者対応設備 (○はいくつでも) ※設備がある場合に○をつけてください。	1. 手すり(便所、浴室、廊下など 2力所以上) 2. 段差のない屋内 3. 廊下などが車椅子で通行可能な 幅(おおむね80cm以上) 4. 浴室・トイレの暖房設備	1. 手すり(便所、浴室、廊下など 2力所以上) 2. 段差のない屋内 3. 廊下などが車椅子で通行可能な 幅(おおむね80cm以上) 4. 浴室・トイレの暖房設備
問13-3	省エネ設備 (○はいくつでも) ※設備がある場合に○をつけてください。	1. 二重サッシ又は複層ガラスの窓 (全部又は一部の窓) 2. 太陽光発電装置	1. 二重サッシ又は複層ガラスの窓 (全部又は一部の窓) 2. 太陽光発電装置

(注1) 延べ床面積と敷地面積はつぎのように記入してください。

■小数点以下を四捨五入してご記入ください。

III. 世帯などについておたずねします。

問14. リフォーム当時の世帯主の方の年齢

歳

問15. 世帯主の方のリフォーム当時の職業 (○はひとつ)

1. 農林漁業主	2. 自営業	3. 会社・団体役員	4. 公務員	5. 会社・団体職員
6. 派遣社員・短期社員	7. 年金受給者	8. 無職	9. その他 ()	

(注) 短期社員とは、雇用の契約期間が1年未満の社員又は契約期間に関わらず臨時的に雇用された社員

問16. リフォーム当時の勤続年数 (問15で「2」～「6」と答えた方にお伺いします。)

年

(注) 自営業の方は、ご本人の開業時又は親族等から継承を受けた場合は継承時からの年数を記入してください。

問17. 平成27年の世帯年収 (税込み)

万円

(注) ①ご家族全員の収入の合計をご記入ください。
②ボーナス、配当金など財産収入、年金・仕送りなども含みます。
③自営業の方は、売上高でなく所得をご記入ください。

問18. 現在の住宅に住んでいる人

居住者の合計人数 人、(そのうち65歳以上の居住者の人数 人)

(そのうち18歳未満の居住者の人数 人)

IV. リフォームの資金調達方法についておたずねします。

問19. リフォーム費用について

リフォーム費用はどのように調達されましたか。該当する項目全てに金額をご記入ください。

A. 自己資金の合計 (ア)～(オ)の合計	億	万円	返済期間
(ア) 預貯金、有価証券の売却代金、退職金	億	万円	/
(イ) 不動産売却	億	万円	/
(ウ) 贈与(住宅取得贈与の対象になるもの)	億	万円	/
(エ) 遺産相続	億	万円	/
(オ) その他	億	万円	/
B. 借入金の合計 (カ)～(サ)の合計	億	万円	年
(カ) 民間金融機関	億	万円	年
(キ) 住宅金融支援機構(直接融資)	億	万円	年
(ク) その他公的機関	億	万円	年
(ケ) 勤務先(勤務先の共済組合など含む)	億	万円	年
(コ) 親、兄弟姉妹などの家族、知人	億	万円	年
(サ) その他	億	万円	年
C. リフォーム資金総額 AとBの合計	億	万円	

(注) ① (ア)～(オ)の項目の合計をA欄、(カ)～(サ)の合計をB欄に、A、Bの合計をC欄にご記入ください。

②借入金については元本のみで利息を含まない額をご記入ください。

③その他公的機関の欄には、住宅金融支援機構以外の公的機関からの借入れをご記入ください。

問20. 住宅ローンの有る方（問19で（カ）～（ケ）に記入された方のみ）におたずねします。

問20-1. 住宅ローンの支払い額は年間どのくらいですか。

年間支払い額 万円

問20-2. 住宅ローン減税の適用を受けていますか。（○はひとつ）

1. 受けている 2. 受けていない 3. 受ける予定である

問20-3. 住宅ローンの負担についてどのようにお感じですか。（○はひとつ）

- 1. 非常に負担感がある（生活必需品を切りつめるほど苦しい）
- 2. 少し負担感がある（ぜいたくはできないが、何とかやっけていける）
- 3. あまり負担感はない（ぜいたくを多少がまんしている）
- 4. 全く負担感はない（家計にあまり影響がない）

問21. 民間金融機関からの借入金について金利のタイプは次のうちのどれにあたりますか。（○はいくつでも）

（問19で「（カ）民間金融機関」の金額欄に記入された方のみにおたずねします。）

- 1. 変動金利型
- 2. 固定金利期間選択型（3年以下）
- 3. 固定金利期間選択型（5年）
- 4. 固定金利期間選択型（10年以下（2及び3を除く））
- 5. 固定金利期間選択型（10年超）
- 6. 全期間固定金利型（10年以下）
- 7. 全期間固定金利型（10年超）

問22. 今回のリフォームに関する民間金融機関への融資の申し込みについておたずねします。

民間金融機関へ融資の申し込みをされましたか。(〇はひとつ)

- 1. 申し込みをしなかった
- 2. 申し込みをした(問22-1へ)

問22-1. 民間金融機関に融資の申し込みをしようとした際に、次のような経験をしましたか。

該当する番号に〇をつけてください。(〇はいくつでも)(問22で「2」と答えた方のみ)

- 1. 融資条件を希望するものより厳しく(融資額の減額等)しなければ、融資は一切できないという民間金融機関があった
- 2. 融資条件を希望するものよりも厳しくしたとしても、融資は一切できないという民間金融機関があった
- 3. 「1」や「2」の経験はない

問22-2へ(問22-1で「1」又は「2」と答えた方のみ)

問22-2. 問22-1で「1」又は「2」と答えた理由や結果についておたずねします。
問22-1で「1」や「2」の対応を受けた理由として思いあたるものは何ですか。
該当するものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

1. 年齢	9. 勤続年数
2. 家族構成	10. 担保評価額
3. 年収	11. 金融機関との取引状況
4. 所有資産	12. カードローン等の他の債務の状況や返済履歴
5. 返済負担率	13. 健康状態
6. 業種	14. わからない
7. 勤務形態(自営、契約社員等)	15. その他()
8. 勤務先の規模(資本金、従業員数等)	

結果として民間金融機関から融資を受けることができましたか。該当するものに〇をつけて下さい。
(〇はひとつ)

- 1. 希望する融資条件で融資を受けることができた
- 2. 融資条件を希望するものより厳しくされて融資を受けることができた(融資額の減額等)
- 3. 民間金融機関からは融資を一切受けられなかった

希望額の融資を受けられなかった場合、資金の調達方法はどのようにされましたか。(〇はひとつ)

- 1. 足りない部分を自己資金でまかなった
- 2. 足りない部分はほかの金融機関で融資を受けた
- 3. その他()

長時間にわたりご協力ありがとうございました。